資料 11

(H29.1.31)登山関係者による情報交換会（十勝西部森林管理署東大雪支署資料）

１　（平成２８年度現在）東大雪支署管内の登山道に通じる林道の状況について

別紙１のとおりとなっています。

２　（平成２９年度）林道の復旧予定について

平成２９年度の林道の復旧予定については以下のとおりとなっています。あくまで現段階での予定となっておりますのでご承知おきください。

（１）ユニ石狩岳に通じる林道について

機械チャーター（建設機械賃貸借）により「シンノスケ迂回線林道」「シンノスケ迂回線一ノ沢林道」「音更川林道」の３路線を復旧する予定です。被災規模が大きい箇所もあることから、単年度での復旧が見込めるかは未定となっています。

（２）十勝岳に通じる林道について

現在は、「シートカチ支線林道」「レイサクベツ林道」「トノカリ林道」の３路線を通行していましたが、被災が甚大なため、走行距離が増えますが「シートカチ支線林道」「トノカリ林道」の２路線を機械チャーター（建設機械賃貸借）により復旧を予定しています。

別紙１

平 成　29 年　１ 月 31 日現在

平成28年度東大雪地域の登山口に通じる主な林道の状況について

平成28年度現在の東大雪支署管内の登山道に通じる林道の状況は下記の通りとなっています。

記

１　上士幌町管内

（１）ウペペサンケ山に通じる林道（台風被害により通行止め）
林道名（括弧内は登山コースの通称）
- 糠平川林道、糠平川迂回林道（糠平コース）：林道決壊のため通行止め
- 支然別支線林道（菅野温泉西コース）：崩壊のため通行止め
- 然別林道、ユーヤンベツ林道（菅野温泉東コース）：崩壊のため通行止め

（２）ユニ石狩岳・音更山・石狩岳に通じる林道（台風被害により通行止め）
林道名
- 音更川本流林道：土砂崩れのため通行止め
- シンノスケ迂回線四ノ沢林道：路面洗掘のため通行止め
- シンノスケ迂回線一ノ沢林道：林道決壊のため通行止め
- シンノスケ迂回林道（三股側・三国峠側）：林道決壊のため通行止め

（３）ニペソツ山に通じる林道（台風被害により通行止め）
林道名
- １６の沢林道：土砂崩れのため通行止め

（４）西クマネシリ岳に通じる林道（台風被害により通行止め）
林道名
- シンノスケ三の沢林道：路面洗掘のため通行止め

２　新得町管内

（１）ヌプントムラウシ温泉等に通じる林道（大規模災害により通行止め）
林道名
- ヌプントムラウシ林道：大規模災害により当面復旧の見通しなし

（３）十勝岳東大雪ルートに通じる林道（台風被害により通行止め）
林道名
- シートカチ支線林道：林道決壊のため通行止め
- レイサクベツ林道またはトノカリ第１支線林道：路面洗掘のため通行止め
- トノカリ林道：通行可

（４）トムラウシ山に通じる林道（平成28年度復旧）
林道名
- ユートムラウシ林道：通行可
- ユートムラウシ第二支線林道：通行可

資料 12

平成 28 年度　登山者数の推計について（東大雪地域）

上士幌自然保護官事務所

1　はじめに

(1)　調査対象

ユニ石狩岳、天宝山及び西ヌプカウシヌプリは、登山者カウンターや入林簿を設置していないため、調査対象から除外した。

(2)　調査期間、調査方法

登山口毎の調査期間及び調査方法は別紙「登山口毎の調査期間及び調査方法」のとおり。

(3)　登山者カウンター

ア　赤外線式カウンター（映測サイエンス社製・LR カウンターⅢa）

赤外線ビームを発射し、そのビームを反射した物体を検出する。左右に 2 個配置したセンサーが入下山を区別し登山者 1 人 1 人を秒単位で記録する。

蓄電池で作動し、太陽電池で電源を補う。

イ　熱感知式カウンター（仏エコカウンター社製・eco counter）

センサー自体は赤外線を発射せず、人体表面から放出する赤外線を受信し、人を検出する。上下に 2 個配置したセンサーが入下山を区別し 15 分ごとの登山者数を記録する。

内蔵電池で約 10 年作動する。

赤外線式カウンター

熱感知式カウンター

(4)　欠測、その他特異事項

調査期間中に機器の作動停止はないが、ウペペサンケ山では蓄電池の電圧低下のためセンサーの感度低下による不検知が生じたと考えられる。

然別湖周辺の山々では昨秋の低気圧による倒木のため、そのほかの山では 8 月の台風による水害のため登山できない期間が生じた。これらの期間については、別紙「道路通行止めと入林禁止の期間」のとおり。

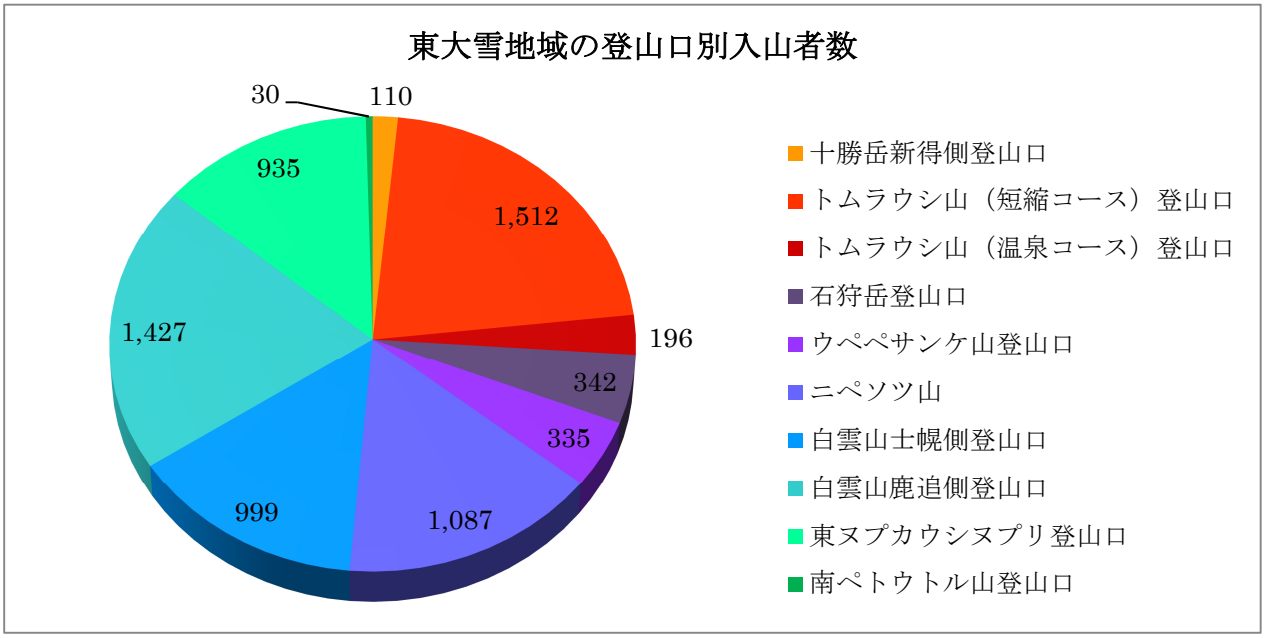
2　東大雪地域全体

(1)　入山者数

調査期間中、東大雪地域全体の入山者数は、6,973 人であった。

(2)　登山口別入山者数

トムラウシ山の短縮コースが最多、次いで白雲山の鹿追側であったが、白雲山の鹿追側と士幌側を合わせれば 2,426 人となり、トムラウシ山の短縮コースと温泉コースを合わせた 1,708 人より多かった。



(3) 登山口毎の月別入山者数

登山口毎の月別入山者数を比較すると、5 月は消雪の早い白雲山士幌側の入山者数が目立つ。倒木のため入山を止めていた白雲山鹿追側(8 月初め)と南ペトウトル(9 月末)は解除まで値がない。8 月中旬以降、トムラウシ山やニペソツ山など多くの山が林道の通行止めにより入山不可となる一方で、被災のなかった然別湖周辺の山々は数を伸ばした。

登山口	年間	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
十勝岳新得側	110			38	57	15	0	
トムラウシ山短縮コース	1,512		2	107	918	485		
トムラウシ山温泉コース	196		12	45	41	38	10	50
石狩岳	342		2	42	200	97	1	
ウペペサンケ山	335		2	58	185	90		
ニペソツ山	1,087		16	142	588	339	2	
白雲山士幌側	999	46	229	227	171	100	68	158
白雲山鹿追側	1,427					310	481	636
東ヌプカウシヌプリ	935	1	45	90	313	104	193	189
南ペトウトル山	30							30
合計	6,973	47	308	749	2,473	1,578	755	1,063

3 登山者カウンターのデータに関する考察

ア トムラウシ山短縮コース

(1) 概要

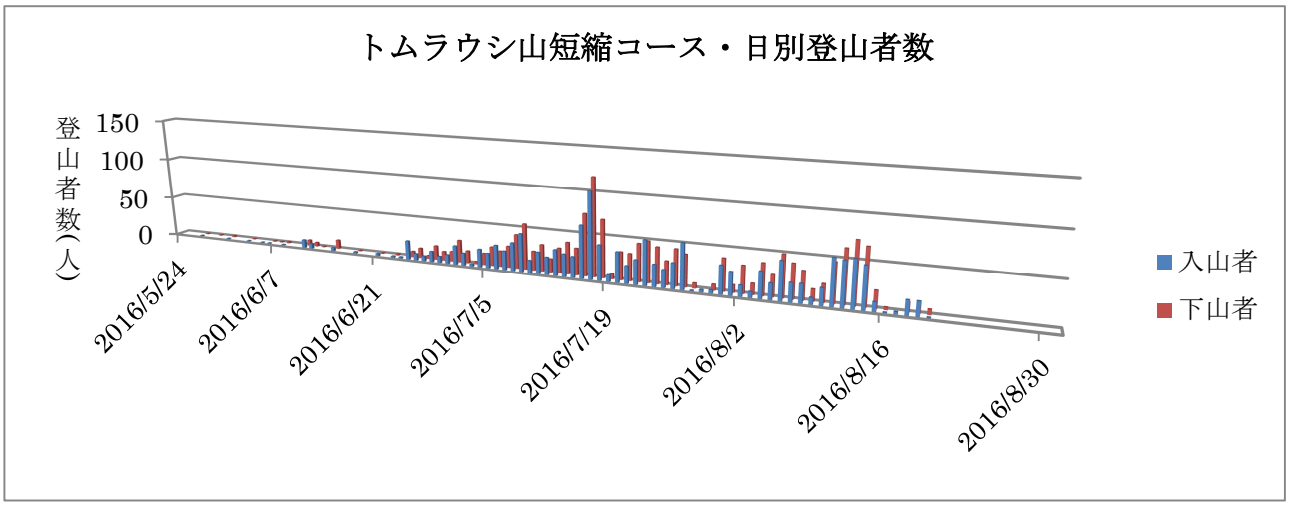
調査期間の利用者数は、入山 1,512 人、下山 1,785 人であった。台風被害により 8 月 20 日(土)から 27 日(土)、30 日(火)から 9 月 26 日(月)まで道道忠別清水線が、10月11日(火)まで林道が通行止めとなり、昨年6月17日から10月14日の入山2,657人、下山 3153 人を大きく下回った。

(2) 日別登山者数

日別の登山者数を入下山の合計で並べてみると、上位 5 日は次のとおり。海の日連休が 3 日とも入っている。

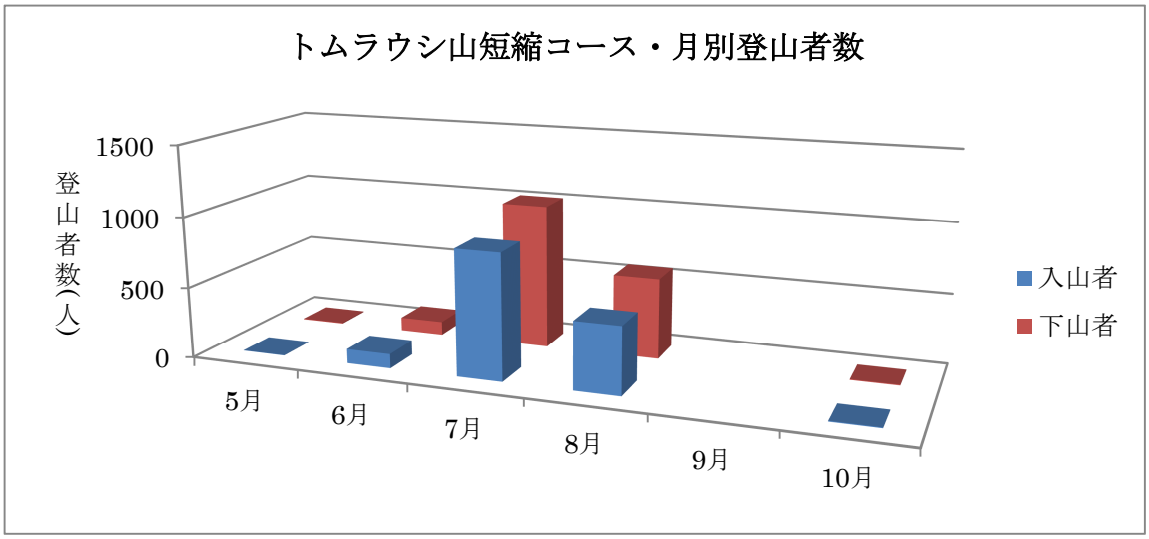
日付	曜日	入山者	下山者	合計
7/17	日	172	168	340
7/16	土	117	99	216
7/9	土	104	91	195
7/23	土	100	71	171
7/18	月(祝)	58	103	161

通行止めを除く対象期間 89 日中に入山者のゼロである日は 19 日であった。



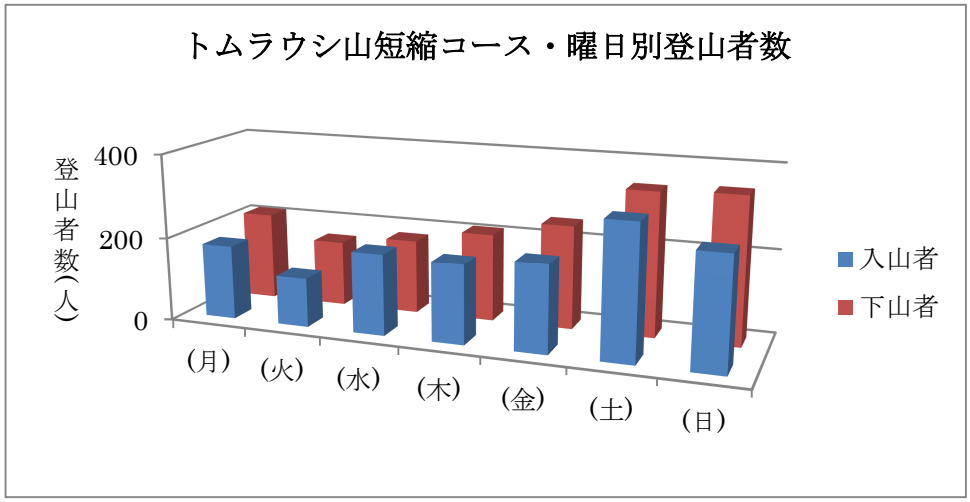
(3)　月別登山者数

台風による道路通行止めの影響で、8 月は頭打ち、9 月は登山者なし、10 月もわずかであった。



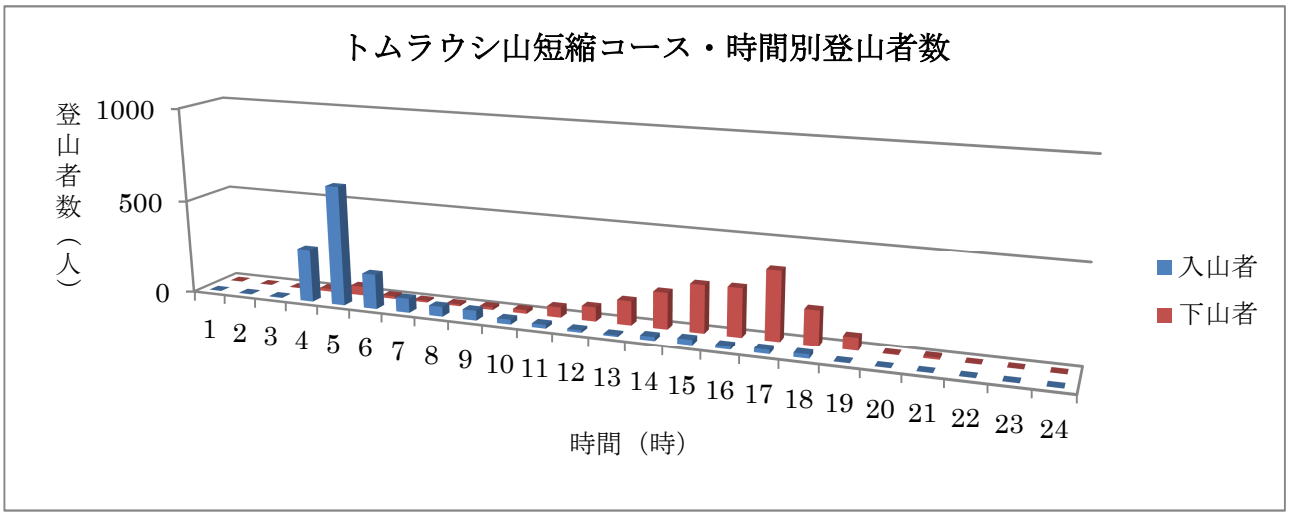
(4)　曜日別登山者数

登山者が多いのは土曜日、日曜日であり、平日はその 2 分の 1 ほどであった。



(5)　時間別登山者数

入山は 3～6 時に集中し、下山は 13 時から 18 時頃までに渡っている。



イ　トムラウシ山温泉コース

(1)　概要

調査期間の利用者数は、入山 165 人、下山 492 人であった。台風被害により 8 月 20 日(土)から 27 日(土)、30 日(火)から 9 月 26 日(月)まで道道忠別清水線が通行止めとなり、昨年の入山 277 人、下山 514 人を下回った。

遠く旭岳や層雲峡、十勝岳連峰などから入山し、トムラウシ温泉を下山に利用する縦走登山者が相当数いると考えられる。

(2)　日別登山者数

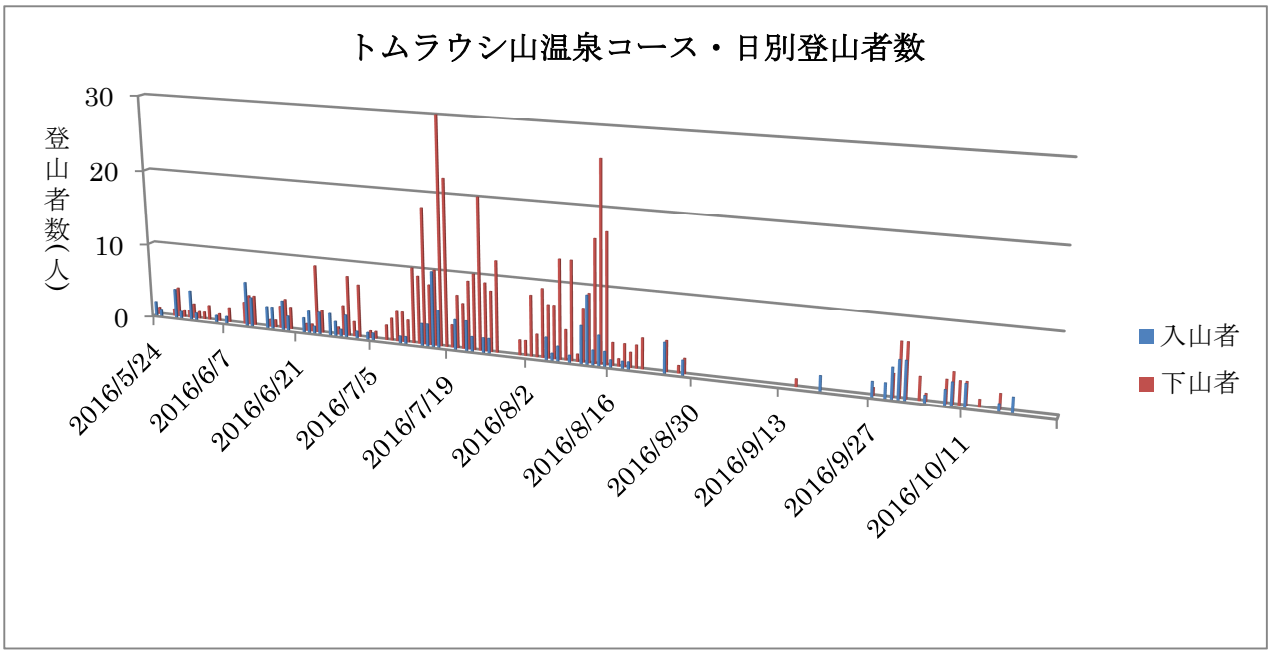
日別の登山者数を入下山の合計で並べてみると、上位 5 日は次のとおり。海の日連休が 3 日とも入っている。

日付	曜日	入山者	下山者	合計
7/17	日	5	30	35
8/14	日	4	26	30
7/18	月(祝)		22	22
7/14	木	3	18	21
7/16	土	10	10	20

通行止めを除く対象期間 120 日中に登山者がゼロの日は 30 日であった。

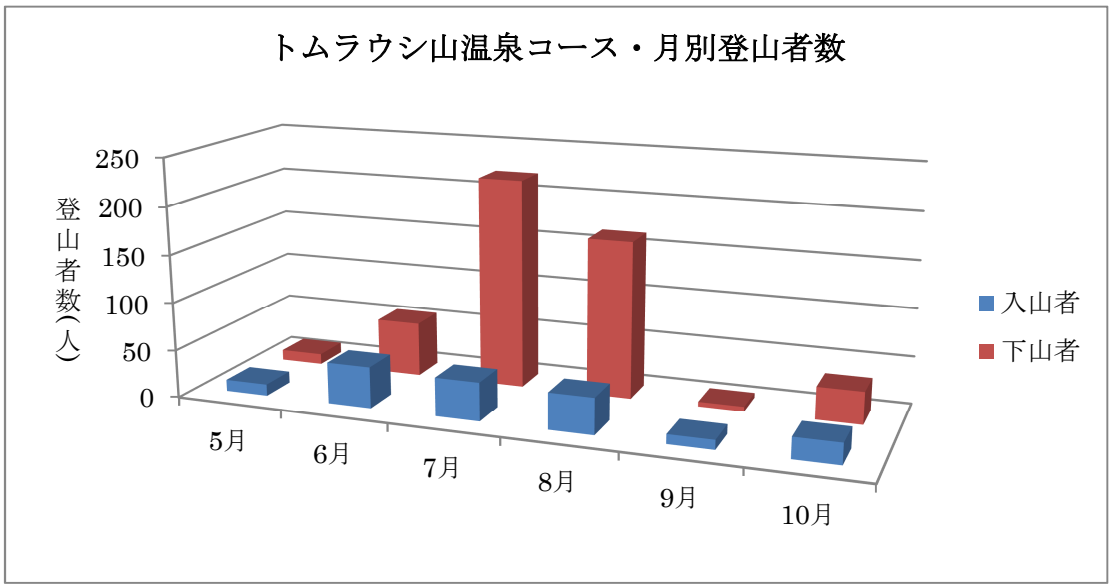
拓殖バスが運行された 7 月 16 日(土)～8 月 19 日(金)の 35 日間は入山 61 人、下山 299 人であった。運行期間以外の 119 日は同 104 人、193 人であった。ところで、期間中の差分 238 人が仮に全て縦走登山者で全員がバスを利用したとしても 1 便あたりの乗車人数は平均 3.4 人で、運行の収支にどれほど貢献しているか悩ましい。

ほかの多くの登山口が利用できない中、紅葉の見頃が遅くまで続いたこともあり、道道の通行止め解除後にやや盛り返した。



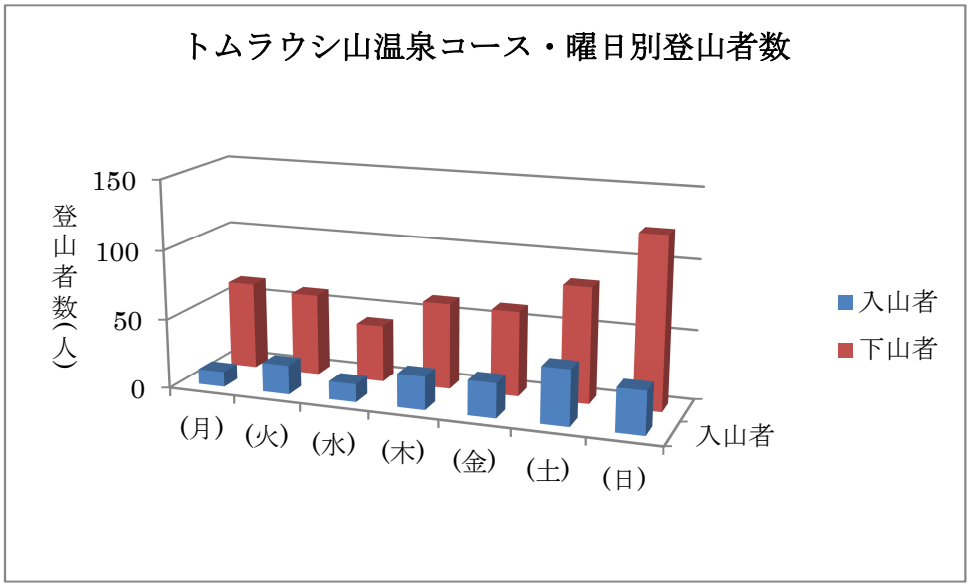
(3)　月別登山者数

ほかの登山口と違い、7 月、8 月の下山者の多さが目立つ。ただし、目立っているのは入山者との比であって絶対数は少ない。



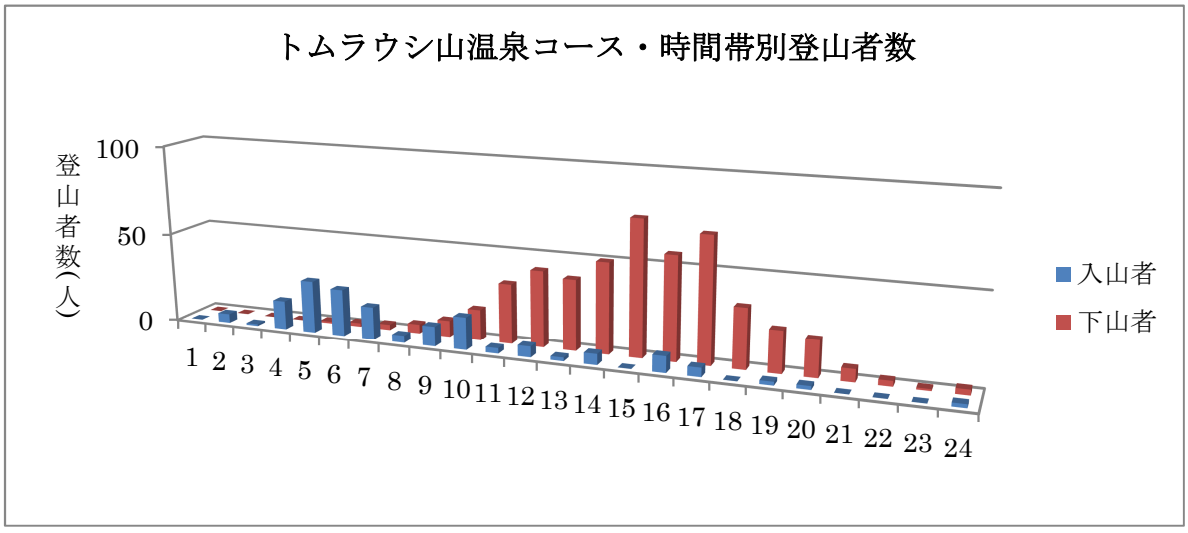
(4)　曜日別登山者数

入山者は土曜に多く、下山者は日曜日に多かった。いずれの曜日も下山者が入山者を大きく上回っている。



(5)　時間帯別登山者数

行程の長さから、ほとんどは山中泊を伴う登山者だと考えられる。日帰り往復でなければ行動には余裕があり、入下山の時間帯に極端な集中は見られない。



ウ　ニペソツ山

(1)　概要

調査期間中の利用者数は、入山 1,087 人、下山 1,122 人であった。値は誤差を含んでいる。

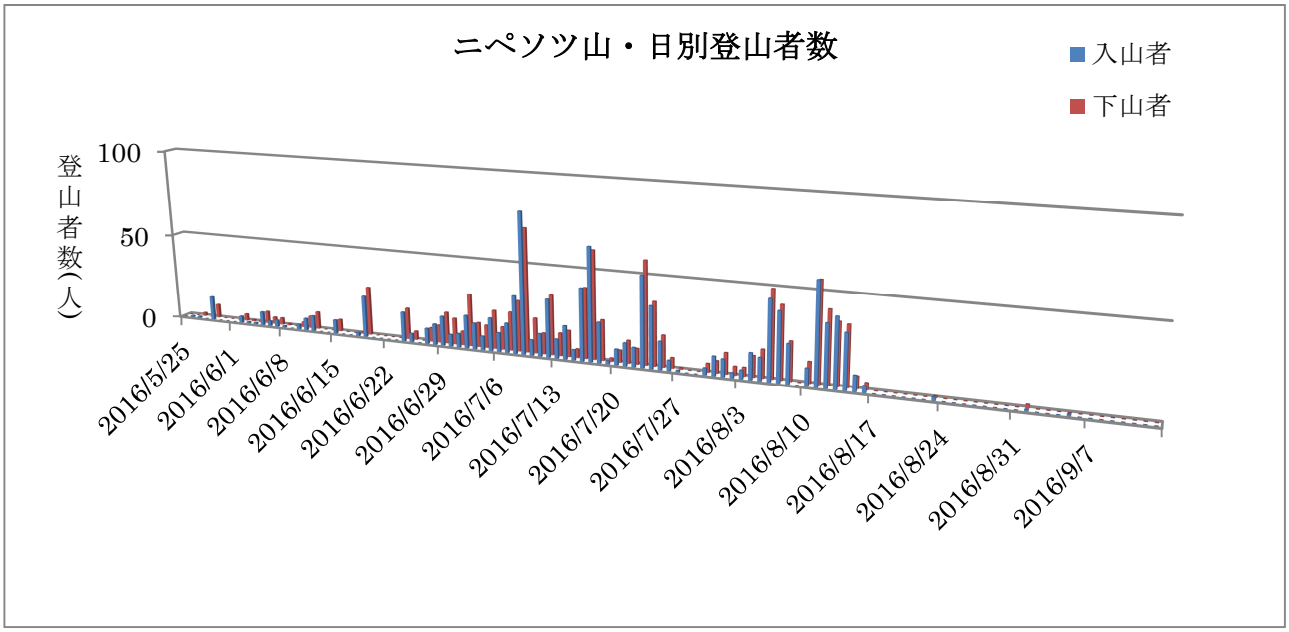
ニペソツ山には初めて eco カウンターを設置した。台風 7 号の被害により 8 月 18 日(木)から音更川本流林道が通行止めとなり、その後の台風でさらに被害が拡大し、当面は解除の見通しが立たないため、9 月 14 日(水)にカウンターを回収した。

(2)　日別登山者数

日別の登山者数を入下山の合計で並べてみると、上位 5 日は次のとおり。いずれも休日であったが、最多は 7 月 9 日(土)で海の日連休の一週前。また、今年から祝日に加わった山の日が第 3 位であった。

日付	曜日	入山者	下山者	合計
7/9	土	80	70	150
7/17	日	64	61	125
8/11	木(祝)	57	56	113
7/23	土	51	58	109
8/6	土	45	49	94

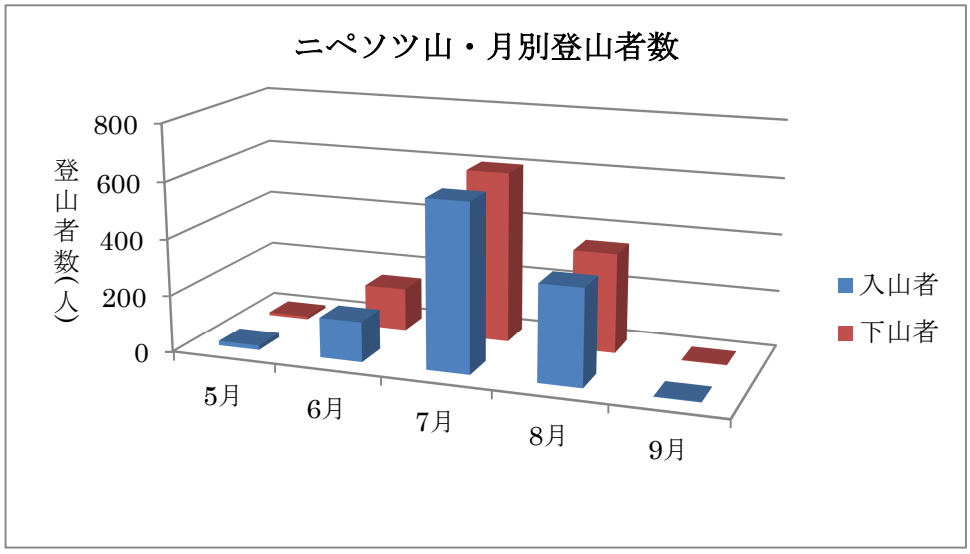
通行止めを除く対象期間 83 日中に入山者のゼロである日は 17 日であった。



(3)　月別登山者数

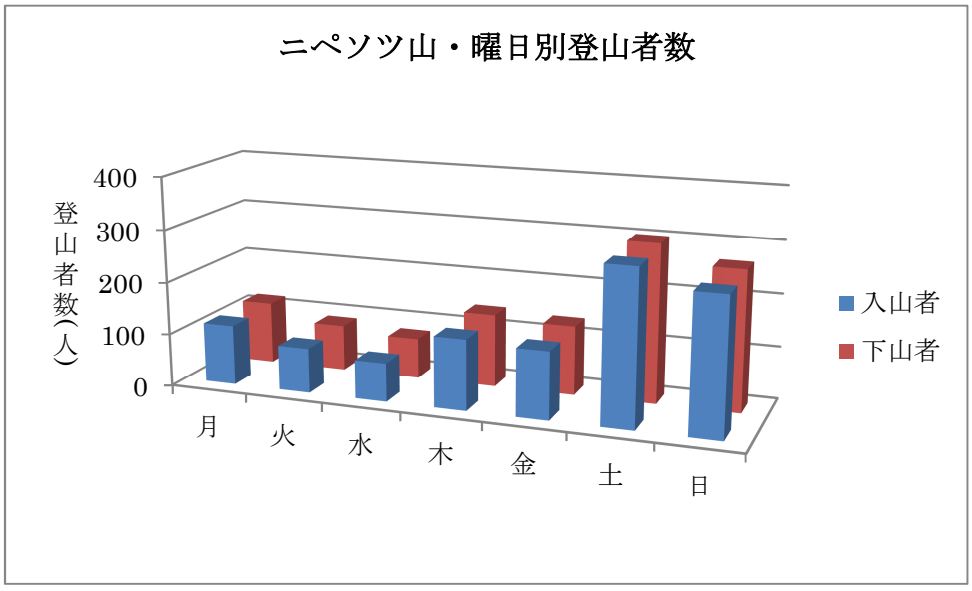
台風による林道通行止めの影響で、月別の登山者数は 8 月に半減した。

9 月はシカか誤差かと考えられる人数となったが、ひがし大雪自然館で登山者が在ったことを聞き取っているので除外しない。



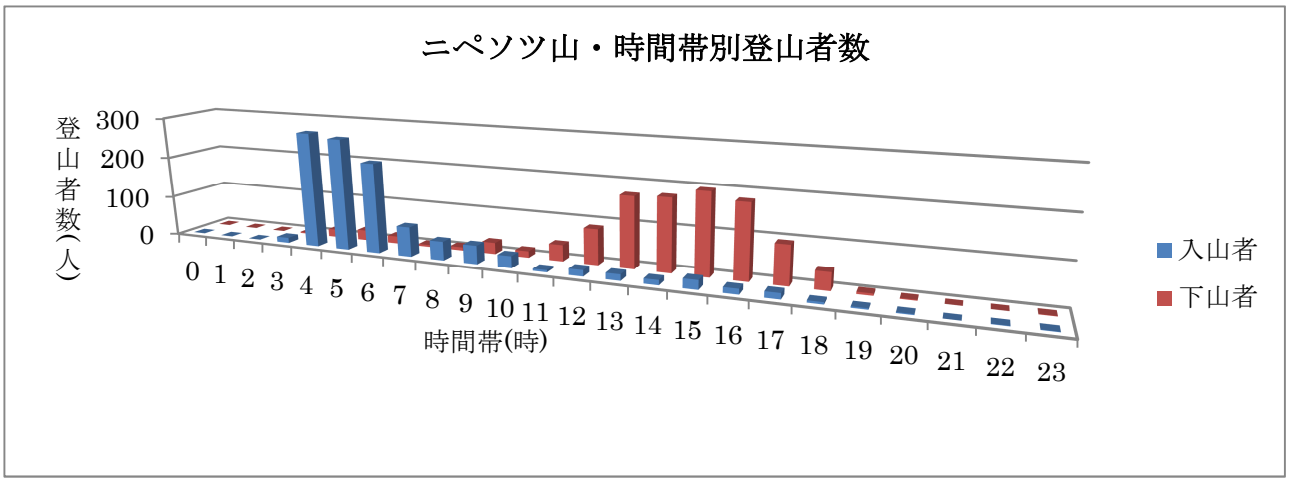
(4)　曜日別登山者数

登山者が多いのは休日であり、平日はその 3 分の 1 ほどであった。トムラウシ山に比較すると休日と平日の差が大きい。



(5)　時間帯別登山者数

誤差の可能性がある早い下山（0～6 時台）65 人と遅い入山（14～23 時台）88 人を差し引くと、総入山者数は 1,087 人が 1,022 人に、総下山者数は 1122 人が 1,034 人になり、入下山者数が近い値に揃う。



エ　石狩岳

(1)　概要

調査期間中の利用者数は、入山 342 人、下山 318 人であった。

石狩岳のほか、音更山やユニ石狩岳、沼ノ原へも登山道が通じていること、ユニ石狩岳との間にはブヨ沼野営指定地もあることから、多様な登山利用が考えられるが、公共交通機関は遠く、車回しが必要なことなど制約は多い。

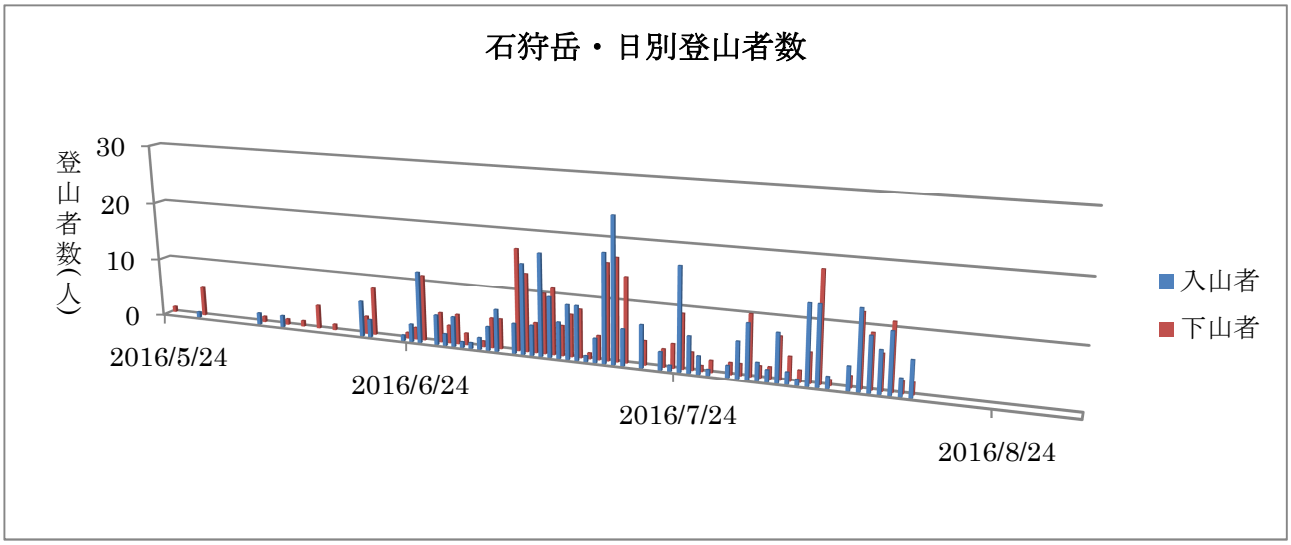
度重なる台風の被害により 8 月 18 日(木)には音更川本流林道が、8 月 25 日(木)にはシンノスケ迂回林道などを経て登山口に通じる林道が通行止めとなった。

(2)　日別登山者数

日別の登山者数を入下山の合計で並べてみると、上位 5 日は次のとおり。休日が 4 日を占め、海の日連休から 2 日が入った。

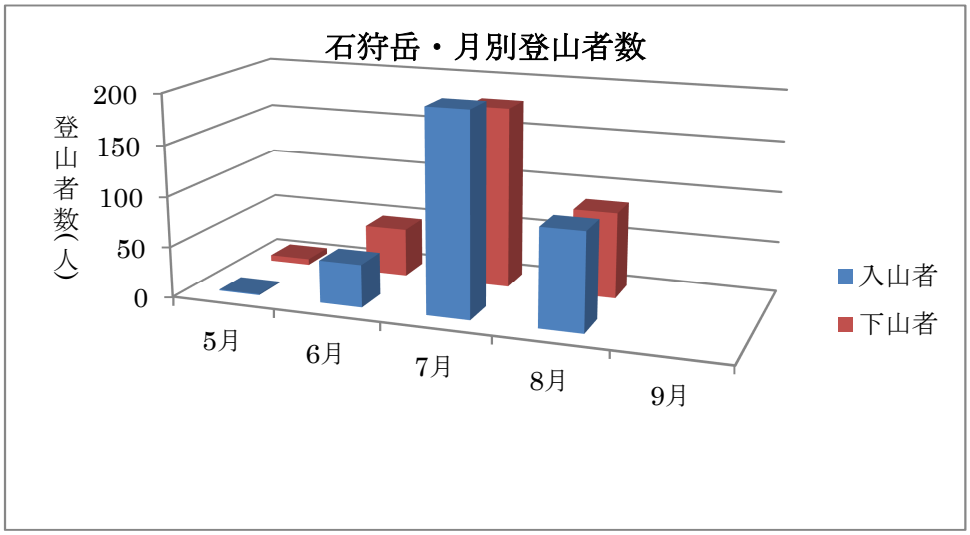
日付	曜日	入山者	下山者	合計
7/17	日	24	17	41
7/16	土	18	16	34
8/7	日	13	18	31
7/7	木	15	13	28
7/9	土	17	10	27

通行止めを除く対象期間 94 日中に登山者がゼロの日は 27 日であった。



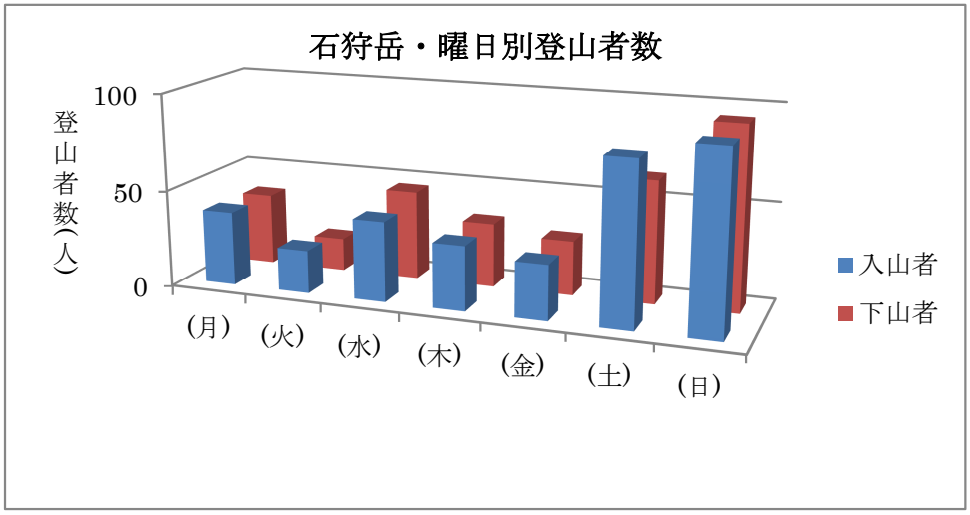
(3)　月別登山者数

台風による林道通行止めの影響で、月別の登山者数は 8 月に半減した。



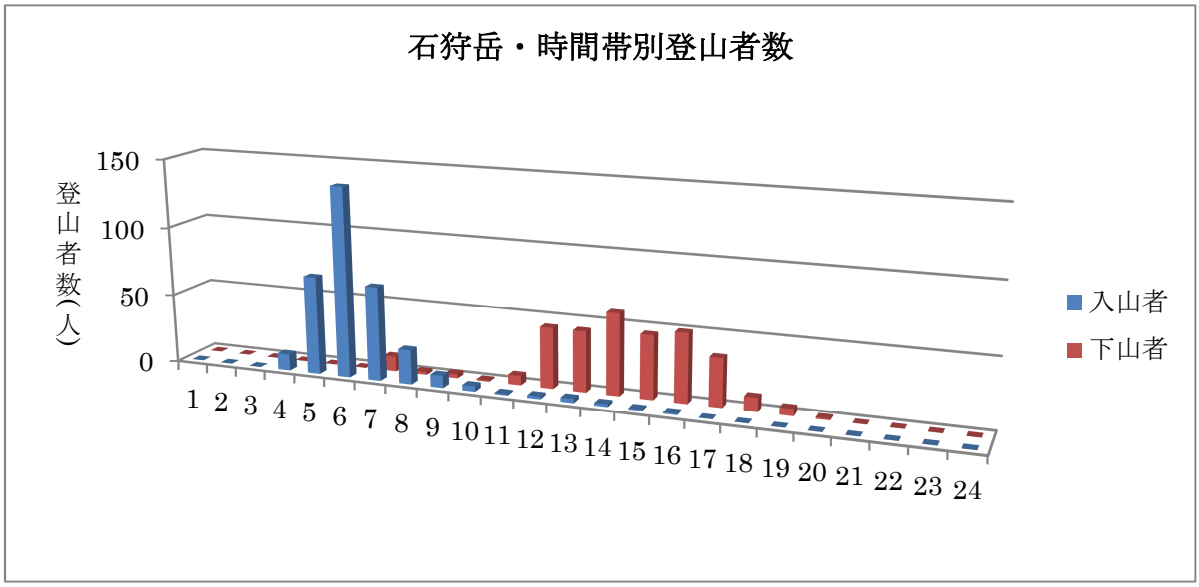
(4)　曜日別登山者数

登山者が多いのは休日であり、平日はその 3 分の 1 ほどであった。



(5)　時間帯別登山者数

入山は 4 時から 7 時の間に集中し 5 時台が特に多い。下山は 11 時から 18 時までに広がっている。



オ　ウペペサンケ山

(1)　概要

調査期間中の利用者数は、入山 335 人、下山 359 人であった。

ウペペサンケ山は日帰りで往復される山であり、ほかに登山口はなく入下山は同数となるところであるが、野生動物の通過など誤差を含んでいると考えられる。深夜の検知など明らかにそれと思われるものは取り除いた。

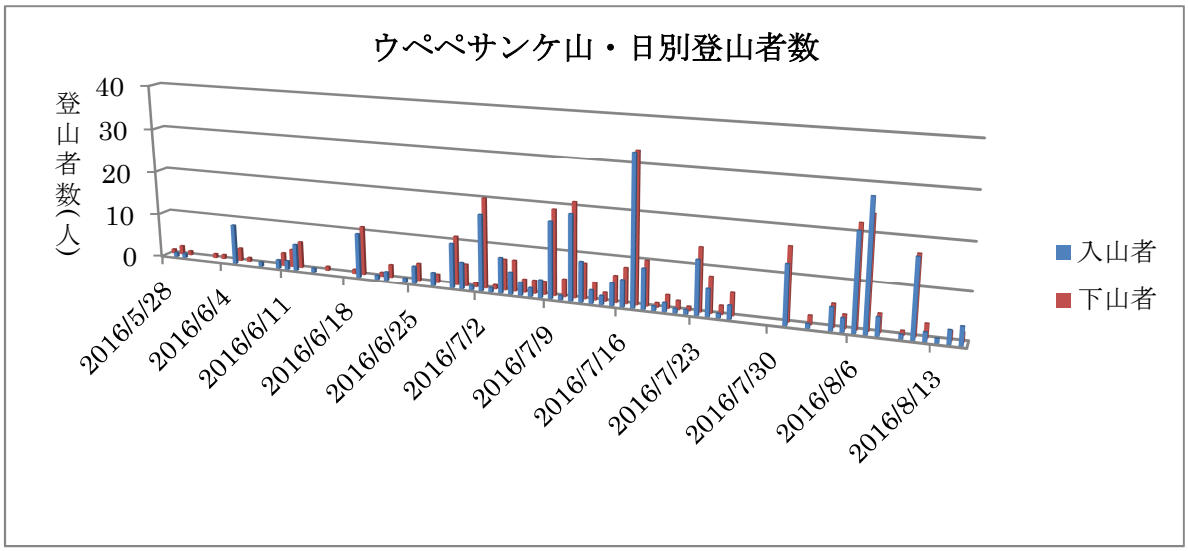
度重なる台風の被害により 8 月 23 日(火)から糠平川林道、糠平川迂回林道が通行止めとなり、昨年 6 月 15 日から 9 月 15 日の入山 497 人、下山 503 人を下回った。

(2)　日別登山者数

日別の登山者数を入下山の合計で並べてみると、上位 5 日は次のとおり。休日が 4 日を占め、海の日連休から 1 日が入った。

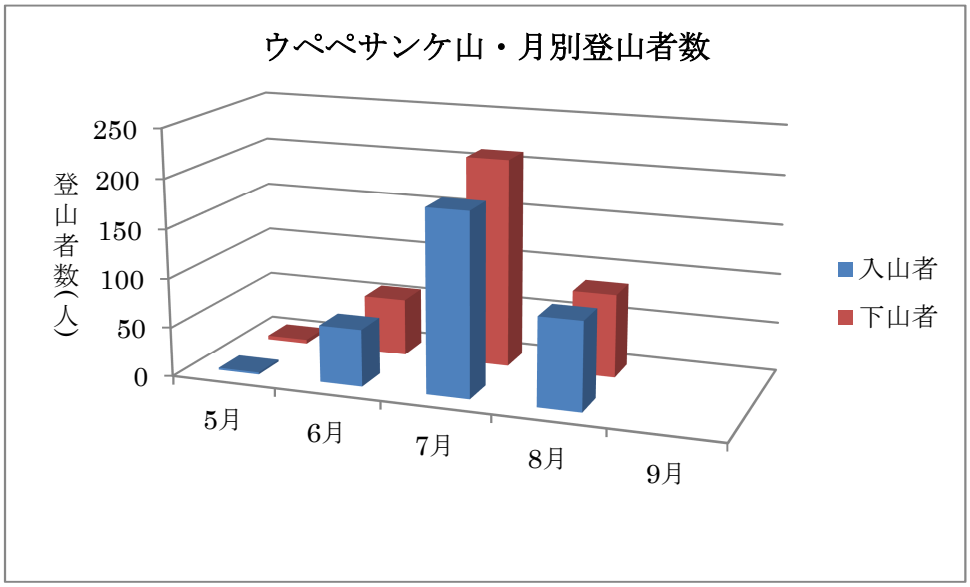
日付	曜日	入山者	下山者	合計
7/17	日	33	33	66
8/7	日	28	24	52
8/6	土	21	22	43
7/11	月	19	21	40
7/2	土	17	20	37

通行止めを除く対象期間 92 日中に登山者がゼロの日は 19 日であった。



(3)　月別登山者数

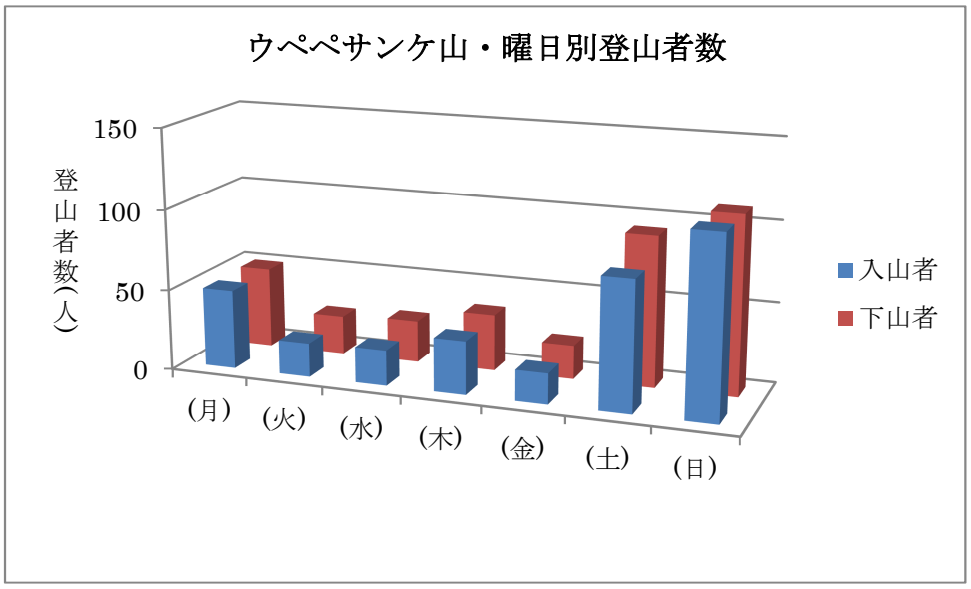
台風による林道通行止めの影響で、月別の登山者数は８月に半減した。



(4)　曜日別登山者数

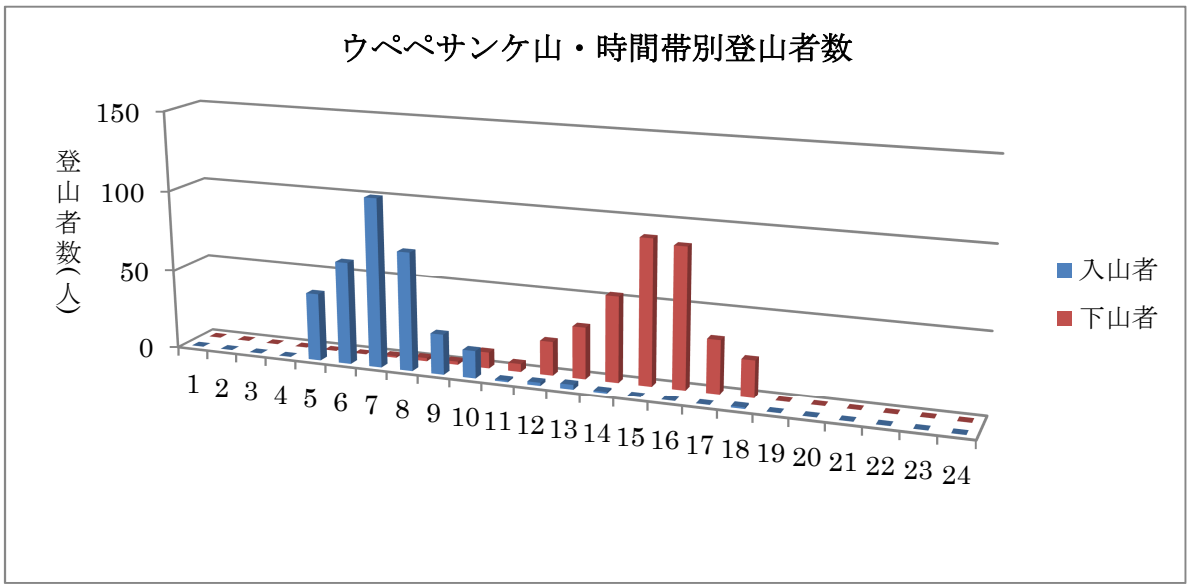
登山者が多いのは休日であり、平日はその 4 分の 1 ほどであった。

月曜日を海の日が、木曜日を山の日が押し上げている。月曜日は 7 月 11 日に団体らしい入山も見られた。



(5)　時間帯別登山者数

トムラウシ山やニペソツ山に比較して登山時間が短いことなどからか、入山時間が 4 時から 10 時と幅広く、最も多い時間帯が 6 時台と遅い。



別紙

登山口毎の調査期間及び調査方法

登山口	調査期間	調査方法
十勝岳新得側	5 月 27 日～9 月	国有林入林簿
トムラウシ山短縮コース	5 月 24 日～10 月 25 日	赤外線式カウンター
	5 月 24 日～10 月 25 日	【参考】熱感知式カウンター
	5 月 27 日～9 月	【参考】国有林入林簿
トムラウシ山温泉コース	5 月 24 日～10 月 24 日	赤外線式カウンター
	通年	【参考】国有林入林簿
石狩岳	5 月 25 日～9 月 20 日	赤外線式カウンター
	6 月～7 月	【参考】国有林入林簿
ウペペサンケ山	5 月 25 日～10 月 4 日	赤外線式カウンター
	5 月～9 月	【参考】国有林入林簿
ニペソツ山	5 月 25 日～9 月 13 日	熱感知式カウンター
	5 月～8 月	【参考】観光協会登山者名簿
白雲山士幌側	4 月～10 月	国有林入林簿
白雲山鹿追側	8～10 月	国有林入林簿
東ヌプカウシヌプリ	4 月～10 月	国有林入林簿
南ペトウトル山	10 月	国有林入林簿

道路通行止めと入林禁止の期間

登山口	道路通行止め・入林禁止期間
十勝岳新得側	8 月中旬から林道通行止め
トムラウシ山短縮コース	8 月中旬から 10 月上旬まで林道通行止め
トムラウシ山温泉コース	8 月中旬から 9 月末まで道道通行止め
石狩岳	8 月下旬から林道通行止め
ウペペサンケ山	8 月下旬から林道通行止め
ニペソツ山	8 月中旬から林道通行止め
白雲山士幌側	被害なし
白雲山鹿追側	8 月初めまで入林禁止
東ヌプカウシヌプリ	7 月上旬まで入林禁止
南ペトウトル山	9 月末まで入林禁止

資料 13

登山道等に関する現状と課題の共有について

平成 29 年 1 月 31 日
上士幌自然保護官事務所

東大雪地域の登山道等に関する現状と課題を、別添図のとおりまとめました。

登山道等に関する課題を広く関係者間で共有し、将来的に協働で対策を進めていくための基礎資料とします。毎年情報を更新し、情報交換会の中で共有を図っていきます。

【みなさまへのお願い】

別添図は当所の巡視記録に基づき作成したものです。

漏れがある、すでに解決済みである等、お気づきの点がありましたら、随時反映しますので、お知らせください。

なお、個別の地点における補修作業については、春の情報交換会（H28.6.9）でお知らせしましたとおり、「登山道補修ノート」（別添様式）を活用した記録の作成にご協力ください。

---------- 通　信　欄 ----------

送付先ファックス番号：０１５６４－２－２９３３

課題の追加・削除の別	場所・内容 （必要に応じて位置図・写真を添付ください）
（例） 追加・削除	場所：　○○山○○コース　標高○○m 付近 内容：　ササ被り、侵食、歩道外への踏み込み　など
追加・削除	場所： 内容：
追加・削除	場所： 内容：

所属機関名	（担当者名：　　）
連絡先	Tel.　　FAX. Mail.

もしくは電子メールにてご連絡ください。（送信先：　SHOTA_HARASAWA@env.go.jp ）

東大雪地域　歩道等に関する現状と課題
（平成 28 年度・環境省把握分）

ヒグマ情報センター
ゲートあり
通行には施錠管
(上川中部森林管
忠別岳
1963
化雲岳
1954
五色岳
1868
五色ヶ原
G4
G5
クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐
○木道の位置のずれ、劣化
石狩岳⇒石狩分岐
○ササ被り
シュナイダー登山口⇒石狩岳
○指定地外の野営
十石峠⇒シュナイダーの肩
○指定地外の野営
三国山
1541
音更山
1932
ユニ石狩岳
1756
十石峠
G3
石狩岳
1967
沼ノ原
沼ノ原山
トムラウシ山
2141
南沼
ツリガネ山
1708
クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐
○著しい浸食、ぬかるみ
シュナイダー登山口⇒石狩岳
○灌木被り、倒木多い
シュナイダー登山口⇒石狩岳
○土砂流入による道の消失
十勝三股
十勝川源流部
原生自然環境保全地域
トムラウシ温泉
トムラウシ川
ポントムラウシ川
718
十六ノ沼コース登山口⇒ニペソツ山
○浸食、段差多数
前天狗岳
ニペソツ山
2013
幌加温泉
十六ノ沼コース登山口⇒ニペソツ山
○灌木被り
前天狗
○指定地外の野営
○焚き火
○ティッシュの散乱
②五色ヶ原、石狩連峰、ニペソツ山

ウペペサンケ山
1848
糠平富士
1834
糠平湖
G1
G2
G3
ぬかびら源泉郷
ニペソツ山
糠平コース新登山口⇒ウペペサンケ山西ピーク
○ササ被り
糠平コース新登山口⇒ウペペサンケ山西ピーク
○浸食、段差多数
○ぬかるみ
○ササ被り
273
菅野温泉
85
1088
南ペトウトル山
南ペトウトル山
○ササ被り
然別湖
東雲湖
天望山
白雲山
駒止湖
西ヌプカウシヌプリ
東ヌプカウシヌプリ
白雲山
○岩の隙間にゴミ
○トイレ痕
806
西ヌプカウシヌプリ
○倒木多い
士幌高原ヌプカの里
上士幌町
Kamishihoro Town
鹿追町
Shikaoi Town
Ashoro Town
③ウペペサンケ山、然別湖

登山道補修ノート

記入しない		
記入しない □ └□	備考	記入しない

修復路線/地点：　　保全対策ランク

利用体験ランク/大雪山グレード

修復目標	記録日：
	作業日：

記録者：